

第76回子どもの学びを創る会 学級経営力グレードアップ術② (5.18)

アンケートより

○大学生として参加させていただきました。本当に新しい事がたくさん聞けて勉強になりました。特に、「よい授業をするために、学級経営が重要」という言葉はとても印象に残っています。今後の卒業研究などに生かしていきたいと思います。また次回も参加させてください。ありがとうございました。(大学生)

○現場経験の長い先生のされてきた具体的な実践を知ることができたのでよかった。真似させてもらいたいことが山のようにあるが、全てをやろうと思っても不可能だと思うので、子どもの現状に合わせてすこしずつ取り組みたい。自分の持っていた悩みをベテランの先生方に聞いてもらい、元気の出るアドバイスがもらえたので、また日々がんばろうと思えた。

○「学級づくり」について、今まで大学などで学んできましたが、教員になり自分の学級のこともたちと1カ月をすごして、この研修会に参加し、とても実感をしながら話をききました。そして、自分のクラスの現状を改めて見つめ直し、どんなクラスにしたいか、どんな姿になってほしいのかをイメージし直すことができました。「今すぐにはできること」や「やってみよう」ともたくさんみつけることのできる本当に充実した研修会でした。ありがとうございました。

○貴重な時間を提供していただきありがとうございました。学校の教育目標、学級目標の大切さを改めて感じました。特に、学級目標を子どもたちのものにすることが大切であり、目標を作るまでのプロセスが大切だということがよくわかりました。また、飯田先生の学級を見直す視点とてもよかったです。私の学級経営にぜひ生かしたいと思いました。

○初めて参加させていただきましたが、今後の学級経営のヒントとなることをたくさん学ぶことができました。なかなかうまくいかないこともあります。今日のお話をきいてやってみようと思ひになりました。分からないことは積極的にききながらがんばっていこうと思います。ありがとうございました。

○自校の学校の教育目標を私は思い出せませんでした。学校目標と学級目標、各学年の育てたい力との関連についても深く考えずに目標を決めてしまっていたなと感じています。飯田先生の言葉はとても魅力的で、今の自分にマネできることは限られているかとは思いますが、いつか飯田先生のような学級経営ができる教師になりたいです。質問にもたくさんの先生にアドバイスをいただき、さっそくできることからになりますが、取り組みたいです。「子どもたち」という視点を大切にしたいです。

○大学生を受け入れてくださりありがとうございました。学級経営は、実習などでは体験で

きず、不安でいっぱいでしたが、どのような取り組み方があるのかを学ぶことができ、早く学級経営を試みたいという思いをもつことができました。教員になれるように勉強を一層がんばろうと思います。ありがとうございました。（大学生）

○飯田先生の論理的な実践発表にいつも納得させられます。普段の自分の実践を振り返って恥ずかしい思いでいっぱいになります。竹野先生のお話も広い視点でのアドバイスで大変勉強になりました。

私自身は飯田先生と同期でありながら立派すぎて劣等感を感じたことはありません。自分の未熟さを振り返ることができ、まわりと比較して劣等感をかんじることのできる「向上心」をもとうと思います。ありがとうございました。

○よい時期により研修となります。若い先生方の悩みにも対応し、いろいろ振り返ることもできました。新しいネタをいただきました。ありがとうございました。

○学校の教育目標と学級目標の関係について、本校では見落とされていた部分だと思いました。若い先生が増え、学級目標について相談を受けたので学校に持ち帰って伝えていきたいと思います。今年度は生徒指導主事としても学級づくりについて考えていかなければならないので、飯田先生の実践はとても参考になりました。学級づくりについて校内での研修に生かしたいと思います。（東広島市）

○理論から具体的実践まで教えていただくことができ参加してよかったと思える研修会でした。一学期しんどくなってくる時期の前に、今日のような学級経営について、前向きに楽しんで取り組みたくなるお話が聴けて、5月6月が楽しみに思えてきました。

○学力向上という名のプリントづけ、朝の会帰りの会の時間カット、大人になった時、今やっていることがプラスになっているのだろうか。（力になっているのだろうか。）一日の生活の中で授業時間がほとんど占める。授業改善が本当になされているのだろうか。「ペア学習が大切」と言われながら、現在は形態のみななっている気がする。これを深まりのあるものにするには、子どもたちの時間である朝・帰りの時間を重視することであろう。学テ（4月）が終わったら、朝の時間に1か月間フリートークをやるなどの改善が必要であると考え。この積み重ねがペア学習の深まりにつながる考える。プリントをやらせるだけなら親でも塾でもできる。これに頼るのは教師の職責放棄である。今やっている学力向上の様々なことが、目先の大人の都合ではなく、大人になる今（目の前）の子どもに必要なのかを再検討する必要がある。授業を通して大切にしながら子どもの時間も大切にしていきたい。

○いつもありがとうございます。今日も早速月曜日から「やってみよう」という実践を教えてくださいました。中学校に勤務していますので小学校の先生方の実践は目からウロコです。小中連携がさげばれている今、小学校でしっかり育てられたこどもたちをさらに育てられる

ように自分が成長していかななくては！という思いでいっぱいです。これからもよろしくお願
いします。(中学校)

○来週学級目標を話し合うことにしています。語呂合わせで決めることをしたことが、その
言葉に意味をもたせて・・・ということをやってみようと思いました。今学級に大きな(大
切な)問題をもっているので、学級経営について向き合っていきたいと思えます。ありが
うございました。

○実践紹介から悩み相談など、とても盛りだくさんの内容で、明日からまた頑張りたい、頑
張れそうだと感じることができました。この顔に参加すると、いつも頑張りたいという活力
をいただくことができます。うまくいかないことばかりで悩みも尽きませんが、できること
を一つずつ増やし、子どもたちと一緒に楽しい学校生活を送っていきたいと思えます。あり
がとうございました。

○学級目標のもち方や、学級の雰囲気づくりをしていく方法をまなべたように思えます。他
の先生方の経験のお話も聞くことができ、すぐに生かしていきたいと思えました。教師も子
どもも得意、苦手を上手く使って、だれもが「わかる、できる」経験が accrue するようになると
いいなと思えます。ありがとうございました。

○教師をはじめて1か月半。まだ学級経営とは何かが分かっていない私でしたが、学級目標
の立て方や、学級経営において大切なことを現場の様子や具体例を交えながら教えていた
だき、理解を深められたと嬉しく思っています。学級目標も分からないまま手をつけられてい
なかつたので、やってみようと思えます。子どもたちにとっての教室、学校にできるように
いろんな仕掛けにチャレンジしていきたいと思います。

○まだ学級目標を決めている途中なので、子供の声をしっかりと受けとめて創りあげていき
たいと思えました。またその際に教師は学級目標も意識してつくっていきたいと思えました。
ありがとうございました。

○学級目標が大切といわれながらもなかなか作った後のことを不安に思っていたが、今日の
飯田先生の話をして、方法が新たに聞いて不安が解消された。このような形でも一方的な
講師の先生の説明ばかりではなく、参加者もアイディアの提案者として参加できることで
たくさん意見を出せて(聞いて)よかった。それぞれの学校・立場・学級で抱える問題をそ
れぞれ共有しながら、そして話し合いながら解決しようとしたことが何より今日参加でき
てよかったと思う。ありがとうございました。

○具体的に学級目標の立て方などお話をきくことができ良かったです。一人ひとりがどの
ようなクラスにしたいか考え、話し合っていく中でクラスが一つの方向をむいて目標を考え、

目標が自分たちのものになっていくのだと思いました。また、話し合いの様子を聞いていると、子どもたちが自分たちで進んで話し合いをしていることから、子どもたちには力があるということや学級を自分たちでつくっていくということは、わくわくするなあと思い学級経営の面白さを感じました。いつも学級目標が飾りになってしまっていたから、帰りの会などで振り返りをして子どもたちが意識できるようにしたいと思いました。

○学校教育目標を今よりも気にしたいです。学級活動について、今日ほど詳しい実践・理論のお話をきくことがなかったので、新しいアイデアや考え方をたくさん持ち帰れそうです。飯田先生の学級の子どもたちはきっと学級目標に愛着や誇りを感じながら前向きに過ごしているのだらうと思いました。そういう目標づくりを自分も目指していきます。

○若手中心の研修会もよいですね。もっと若手なりの苦勞を少人数でも提案させるとすっきりして月曜日からがんばれるのではないのでしょうか。お世話になりました。

○学校の教育目標と聞いてサッと答えることができませんでした。系統性のある学級目標をかかげていきたいと思いました。ありがとうございました。

○お世話になりました。お力になれず申し訳ありませんでした。毎回できない、してない自分に腹が立ちます。今日できそうなものというかやりたいものが（やらなければならないことですが）ありましたので、来週から取り組んでみようと思います。ありがとうございました。

○今からでもすぐに使えるようなアイデアであったり、学級経営の考え方を聞くことができたりし、とてもためになりました。特に学級目標のお話は目からウロコでした。児童が自らの思いや願いを込めて一年間で達成に向かって頑張っていけるような目標をこれからつくっていききたいと思います。本当にありがとうございました。

○途中からの参加にも対応していただきありがとうございました。「学級を見直す視点」の名まえにひかれて参加したのですが、「学級目標」「温かさ」等、自分に足りないものを感じ、月曜日からのやる気へとつながりました。ありがとうございました。

○ありがとうございました。途中からでしたがとても勉強になりました。若い先生がたくさん参加され積極的に、そしてすなおに思いを語られ、話されていることにとてもうれしくなりました。とても楽しみです。竹野先生が特別支援の視点からお話をいただけたのもよかったです。次も楽しみにしています。

○新学習指導要領で言われている「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、学級の安定・安心で安全な学級づくりは不可欠です。教科の本質、授業改善、学力向上について

考えるとき、学級の集団作りを考えずして何も始めることはできません。多くの中学教師が学級経営で困っているにもかかわらず、理論すら知らないということもあります。このような研修会の機を知らないということもあります。このような研修会の機をのがさず学んでいきたいと思います。小学校での研修会ではUDのことをよく聞くのですが、中学校ではあまり聞きません。(なので、何年か前に研修目標にしたいと思い、研究課題に取り入れました。) UDの視点に立った授業づくり、学級づくりをみんなで取り組んでいきたいと思います。(中学校)

○やる気になるお話ありがとうございます。近年学力向上ばかり言われますが、ベテランの先生方とお話をすると、今、子どもに本当に必要なのは特活と総合ということを知ります。「切実感」「任せる」「振り返り」互いに共通するものを見つけることができました。ありがとうございます。

○学級経営については改めて自分のクラスのことを振り返ることができました。本研修を通して、学校教育目標について学べたことがとても良かったです。所属校の学校教育目標を見返すと、今改めて「教職員はおそらくわかっていないだろうな・・・」「共有すべき」だと思いました。(広島県)

○先日は、研修会で大変お世話になりました。とてもよい勉強になりました。毎回ですが、飯田先生のお話には心を動かされます。そして、理論を勉強することで視点を持つことができ、戦術的に学級経営を進めることができるなと思いました。

昨日、子どもとの関わりに悩んでいることを相談されていた先生に飯田先生のお話の一部を紹介したところです。今は、担任ではないので自分での実践はできませんが勉強させていただいてかかわる先生方と一緒に、学級経営や授業について考えていきたいと思います。

この会のことも宣伝しておきます。先日は、ありがとうございました

○若い先生が遠慮なく相談でき、ベテランの先生方が真剣にアドバイスする支部会がとても素敵に感じました。専門用語を並べる学会も、それはそれでありですが、ユニバーサルデザインの学会は、言葉どおり、どの先生方にも分かりやすく、よいと思います。

芝田先生がご指導くださった学校の教育目標は、共感しつつ、勉強になりました。私も学校の研究テーマに関連させて、こだわっています。学校の課題(児童生徒の実態・家庭の実態・地域の実態など)→目指す児童生徒像→学校の教育目標→学校の研究テーマ(主題(ねらい))→学校の研究テーマ(副題(手段))いずれも評価できるものでないといけませんよね。

今後ともよろしく申し上げます。